

¡VIVA MÉXICO!

12月

日墨グローバルパートナーシップ 広島大学総合科学部 田代 涼

¡Feliz Navidad! メリークリスマス!

12月といえば、クリスマスですね。日本では何をするのでしょうか？

友達とパーティーしたり、恋人とイルミネーションを見たり、ケ○タッキーのCMが毎日のようにテレビで流れたり。文化的にキリスト教の国ではない日本の風習はある意味独特ですね。メキシコでは、クリスマスイブは家族と食事をして一緒にゆったり過ごすのが一般的だそうです。でも日本や他の国のクリスマスとは一味違うのがメキシコらしいですね。それは、クリスマス前の16日から24日の間、至る所で開催される”Posada”というイベントが存在しているということです。マリアがイエスを産む為に宿を探していた話を表すそうで、二手に分かれて掛け合いの歌を歌ったりします。実際のところ、Posadaという名のfiestaの方が主流です。ここまで言っても、「なんやそれ。」と思った方の為に今回特別に私のPosadaの思い出を共有しようと思います。

Beat it up like piñatas

Posadaで欠かせないのが日本でいうくす玉のようなPiñata。吊り下げられたPiñataを目隠しした状態で棒を使って割ります。その時にも歌を歌います。どこまでも陽気なメキシコ人ですね。割るには相当な力と人数が必要です。というのも、一回歌が終わるまでがタイムリミットだからです。およそ20秒の間にどれだけ叩けるかがポイントです。中には、お菓子やPoncheというこれまたメキシコのクリスマスに欠かせない温かい飲み物を作る為の材料が入っています。割れた瞬間に、走ってみんなお菓みに群がります。メキシコの子供が大好

きなイベントのようです。



ちょうどこの時テスト週間だったのと、様々なストレスが重なっていたので、強烈な一撃を食らわせてやりました。目隠しさえ忘れていました。無事にストレスを発散することができ、スッキリした状態でテストが終わりました。前回よりも良い点が取れて一安心でした。メキシコのクリスマスを経験して、メキシコ人は底抜けに明るいなあと思う瞬間がたくさんありました。しかし、街にはクリスマスであろうと、街で物を販売する大人もいれば、プレゼントを貰うはずの子供達が働く姿も多く見られました。街中で子供が親にねだって、物売りの子供からおもちゃをを買う様子は、いたたまれない気持ちにさせられました。そのような中で、物乞いの子供達に何かのプロジェクトでも団体でもなく、個人的にプレゼントする大人たちもいました。偽善的という言葉ではなく、そのような寛容さには頭が下がります。

Cómo sobrevivir en las fiestas de México

～メキシコのフィエスタで生き残るには～

このような伝統的な **Posada** もあれば、若者たちが **fiesta** をするための口実の **Posada** もありました。メキシコに来ると、必ずいつかはフィエスタに誘われます。日本では、あまり飲み会に行ったことがなく、真面目に勉学に臨んでいた私にとって（半分本当で半分嘘）、フィエスタの経験はかなり刺激的でした。楽しむために、大きな声では言えませんが、ひとりで家でダンスを練習しています。日本人は踊りがぎこちなくて変だと言われたからです笑。それ以上に自分を守るためには、自分の限界を知ること、自分の身は自分で守ること、ノーをはっきり言うこと、周りに味方をつけておくことが大事です。まだ危険な思いをしたことはありませんが、楽しむためには自己防衛ができるように、空手でも習っておこうかと思えます。嘘です。メキシコに来て、周りの環境に対し自分を守らなくてはという意識が強くなり、よく周りが見られるようになったと

思います。